

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 三菱電機(株) 高周波光デバイス製作所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

高周波光デバイス製作所（以下：当所）は半導体デバイスの開発・製造機能を有し、電気エネルギー、化学物質等を大量に使用しており環境に及ぼす影響は極めて大きい。

当所は地球環境と地域社会に調和した事業活動を推進するために、環境方針を以下の通り定め、事業経営との共生を図りながら当所の事業活動、製品及びサービスの全てに適用し、持続可能な発展を目指す循環型システムの追求に取り組むと共に、継続的な向上及び環境汚染等の予防を図る。

「三菱電機グループ第8次環境計画」に沿って目的・目標を明確にし、環境管理活動を推進する。

【重点項目】

1. 環境重点管理テーマとして以下の事項に取り組む。

(1) 生産時 CO2 排出削減

① エネルギー起源 CO2 排出削減（14 年度排出実績 2.0%相当の削減策実施）

② GHG 排出削減（排出量の維持管理）

(2) 環境負荷物質の削減

(3) 製品含有化学物質規制を含めた環境適合設計(D F E)の推進

(4) 環境に配慮した事業活動の推進

2. 環境関係法令、条例及び当所が受け入れた協定等の要求事項を遵守する。

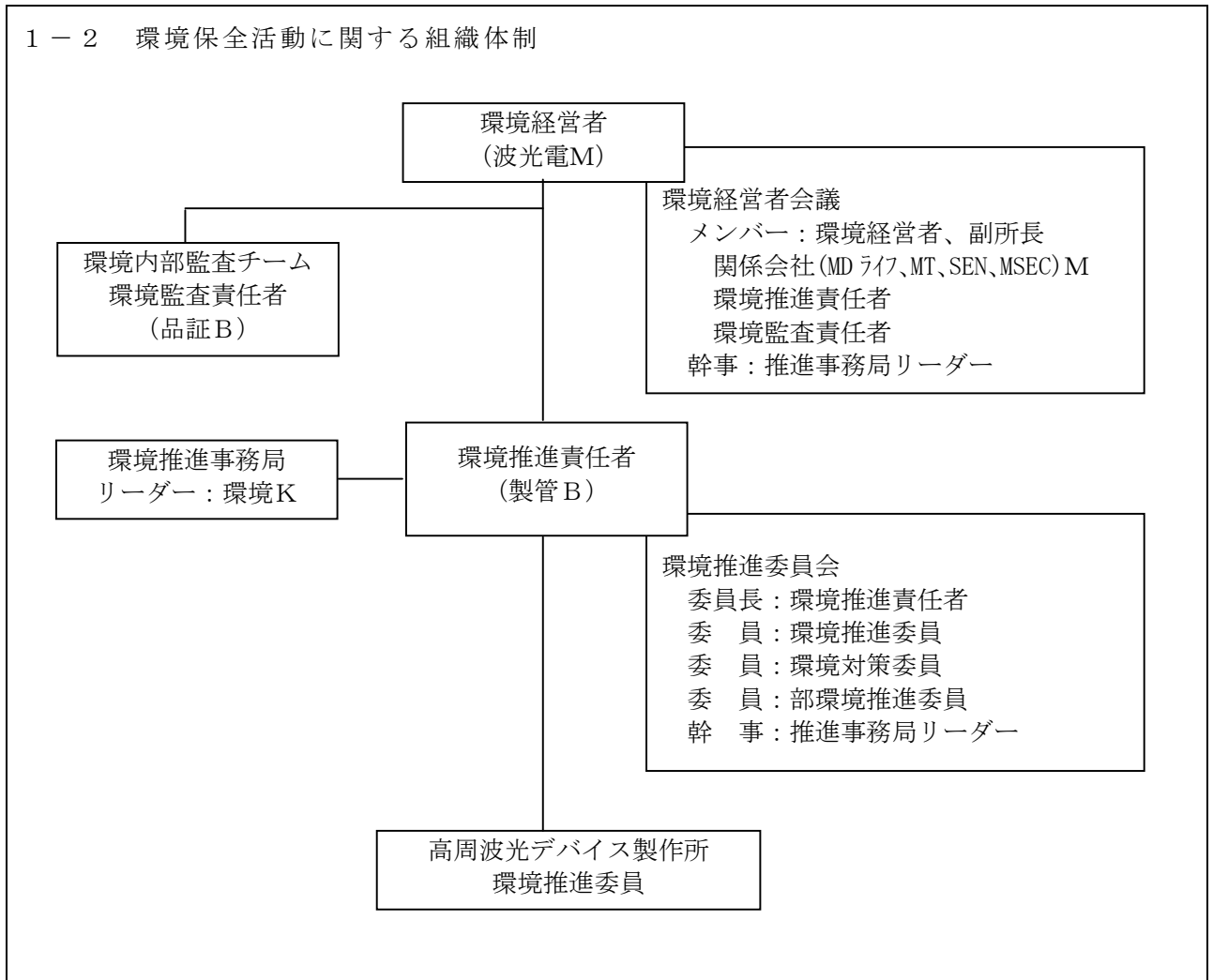
3. 当所周辺の自然環境を大切にすると共に、関係官庁、地域住民、取引先と積極的にコミュニケーションを図り、生物多様性の保持及び地域共生に努める。

4. 当所内関係会社を含む全従業員に環境方針を周知させると共に、環境教育・広報活動等により、家族を含めた環境意識の向上と環境人材の育成を図る。

この環境方針は当所外へ公開する。

別紙 2

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	1. 14年度目標:エネルギー起源CO2を519t-CO2削減達成:530t-CO2(達成率 102%) 2. 施策内容 (1)E3ライン冷凍機更新 (2)L棟低温冷却水停止 (3)C棟蛍光灯LED化 (4)C棟真空ポンプ停止 など	1. 省エネルギー(エネルギー起源CO2排出削減) 目的:エネルギー起源CO2排出削減 (14年度排出実績3.6%相当の削減策実施)削減量:1,080t-CO2 目標:エネルギー起源CO2排出削減 (14年度排出実績2.0%相当の削減策実施) 削減量:600t-CO2 ※ '14年度CO2排出量:29,989t-CO2 2. GHG排出削減 目的:CO2以外の温室効果ガス排出量を改善・維持する 目標:①プロセスガス(PFC,HFC,SF6)の適正処理を継続する。 ②冷凍空調機器の点検強化、漏洩量を確認し抑制につなげる
廃棄物対策	1. ゼロエミッションの継続 2. 環境債務の早期処理 PCB廃棄物の全廃へ向け継続した取組みを実施 (低濃度PCB含有機器の処理準備完了)	1. 環境負荷物質削減 目的:環境負荷物質の環境債務を削減する 目標:①設備更新等で回収した、トランス、照明用安定器等PCB機器を適正管理。 ②PCB、アスベスト等有害物質の適正処理の継続実施
環境マネジメントシステム	1. ISO14001認証取得(サーベイランス合格) 2. ISO14001更新審査認証取得に向けた取組みの実施 (2015年度更新審査)	1. 2015年度の更新審査取得に向け、環境マネジメントシステムの維持向上
環境教育	1. 環境保全に関する従業員教育を実施 (1回/年講演会形式で実施)	1. ISO14001改正の講習会へ参加 2. 環境保全に関する従業員教育の継続した取組み実施
地域社会活動 への参加	1. 工場周辺の社員での清掃活動(1回/年) 2. 瑞ヶ池の桜を育てる会(有志)参加	1. 左記の活動を継続する。 2. 新規の生物多様性保全活動の計画作成